

光星 打線沈黙



【左】光星の打線沈黙。【右】八学光星の投手陣。中野

散発5安打 1点止まり

本来の野球見失い「完敗」

焦点

強打線が期待されたが、八学光星は先発投手、ローテーション、打線、守備の面で、本来の野球を見失った。結果は完敗。試合後、監督は「本来の野球を見失った」と厳しく指摘した。試合は、八学光星が先発投手、ローテーション、打線、守備の面で、本来の野球を見失った。結果は完敗。試合後、監督は「本来の野球を見失った」と厳しく指摘した。



○八学光星の投手陣。中野



2回八学光星1死二塁、但井輪の左前打で二走下山勝大(右)が生還する

第100回 全国高校野球選手権大会

▶第11日

第100回全国高校野球選手権大会第11日は15日、甲子園球場で2回戦も試合が行われ、日大三(西東京)龍谷大平安(京都)木更津総合(東千葉)下関国際(山口)が3回戦に進んだ。日大三が奈良大付を8-4で下し、東京勢は善戦合わせて3回戦目。龍谷大平安は17安打で八学光星を圧倒し、14-1で大勝した。木更津総合は毎回の12安打を打ち、興南(沖縄)に7-0で快勝。下関国際は2点を追う九回に3点を挙げ、前志学園(岡山)に5-4で逆転勝ちした。

2回戦

◎龍谷大平安-八学光星(8時58分、2万9千)

龍谷大平安	0	3	3	0	0	2	2	4	14
八学光星	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(中) 小寺一田島
(先) 福山、成田、中村一秋山
D-二塁打 安井、紀本、永谷D-犠打 南郷、田島、2・北村
誤、矢野D-盗塁 小寺D-失策 北村、武岡、福山
D-試合時間 2時間17分

第100回全国高校野球選手権大会

15日の試合結果

勝ち進み校	勝数	敗数
龍谷大平安	8	4
木更津総合	7	3
下関国際	6	3
日大三	5	3
奈良大付	4	3
興南	3	3
前志学園	2	3
八学光星	1	3
興南	0	3
奈良大付	0	3
日大三	0	3
木更津総合	0	3
下関国際	0	3
龍谷大平安	0	3



右翼手矢野 気迫の好捕

○龍谷大平安の猛攻を受けた八学光星だが、八回に右翼手の矢野虎彦が滑り込んで悪球を好捕。気迫の守備で観客を驚かせた。チームは序盤の2失策で1点を崩しただけに「何とかして投手を助けたかった。どこでも飛んで来いという気持ちだった」とプレートを振り返った。



パブリックビューイングで光星の試合を観戦する市民。15日、八戸市の「マチニワ」